

文学好きの家庭から

芥川龍之介

青空文庫

私の家は代々お奥坊主おくぼうずだったのですが、父も母もはなはだ特徴のない平凡な人間です。父には一いっ中ちゆう節ぶし、囲碁、盆栽、俳句などの道楽がありますが、いずれものになっなていいそうもありません。母は津藤つとうの姪めいで、昔の話をたくさん知っています。そのほかに伯母おばが一人いて、それが特に私のめんどうをみてくれました。今でもみてくれています。家うちじゆうで顔がいちばん私に似ているのもこの伯母なら、心もちの上で共通点のいちばん多いのもこの伯母です。伯母がいなかったら、今こんにち日にちのような私ができたかどうかわかりません。

文学をやることは、誰だれも全然反対しませんでした。父母をはじめ

め伯母もかなり文学好きだからです。その代わり実業家になるとか、工学士になるとか言ったらかえって反対されたかもしれませ
ん。

芝居や小説はずいぶん小さい時から見ました。先のせん 団十郎だんじゅうろう、
菊五郎きくごろう、秀調しゅうちようなども覚えています。私をはじめて芝居を見

たのは、団十郎が斎藤内蔵之助さいとうくららのすけをやった時だそうですが、これは

よく覚えていません。なんでもこの時は内蔵之助が馬をひいて花は
なみち道へかかると、棧敷さじきの後ろで母におぶさっていた私わがが、うれし

がって、大きな声で「ああうまえん」と言つたそうです。二つか

三つくらいの時でしょう。小説らしい小説は、泉鏡花いずみきぎょうか氏の

「化銀杏ばけいちよう」が始めだったかと思ひます。もつともその前に「倭や

まどぶんこ
「文庫」や「妙々車」のようみようみようぐるまなものは卒業して
いました。これはもう高等小学校へはいつてからです。

青空文庫情報

底本：「羅生門・鼻・芋粥」角川文庫、角川書店

1950（昭和25）年10月20日初版発行

1985（昭和60）年11月10日改版38版発行

入力：j.utiya

校正：かとうかおり

1999年1月12日公開

2004年3月7日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp/) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

文学好きの家庭から

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>